

経済の下支えに政策を総動員

桜花爛漫の季節が、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、少し色褪せて見えます。

今年は阪神・淡路大震災から25年。過去の経験から学び、未来につながる大切さを共通認識として確認した矢先の事態です。

自然災害のみならず、あらゆる緊急事態に際しての安全・安心のあり方を多角的に問い直すべきではないでしょうか。

政府による自粛要請は一定の抑制効果を発揮していますが、一方で本県経済や県民生活に多大な負担を強いて

おり、雇用情勢にも懸念を抱かずにはおられません。

事態の長期化も見据えながら、国や県、市町が一体となった経済の下支えに政策を総動員することが喫緊の課題です。とりわけ、中

小・零細企業にきめ細かな手厚い支援策を施すことが不可欠です。また、流言飛語によつて社会不安が増幅される事態が見受けられています。事の真贋を見極め、冷静な行動を心掛けたいものです。

安全安心を問い直すとき

県政では、令和2年度予算を「新兵庫挑戦予算」とし、人口減少下にあっても活力のある、住み続けたい元気の兵庫づくりを掲げています。

第2期地域創生戦略の推進とともに、兵庫2030年の展望で描く「すこやか兵庫」の実現に向かって、一丸となつて取り組む時を迎えています。

皆さまの願いに思いを寄せつつアンテナを研ぎ澄まし、地域の声に真摯に耳を傾けて、政策づくりをまい進することを誓い申し上げます。



4月からの新年度予算を審査する予算特別委員会に所属、財政状況や行財政運営方針の変更議案などをチェックしました(質問項目は裏面に掲載)

「新兵庫挑戦予算」へ新型コロナ対策も

「新兵庫挑戦予算」と銘打った総額3兆9549億円に上る新年度県当初予算案などを審議する第347回定例県議会が2月18日から延べ37日間にわたつて開かれ、上程された全議案を可決、兵庫2030年の展望を踏まえた24億円規模のリーディングプロジェクト事業や第2期地域創生戦略の推進など、将来課題を見据えた対応策や地域活性化に取り組みむことを決めました。また、国の補正を踏まえ、経済の下振れリスクの対応など総額514億円超の令和元年度補正予算案を可決しました。

新年度予算案の一般 円で、対前年度比で会計は1兆9956億 602億円を上回りました。



第347回定例県議会で令和2年度の予算概要を提案説明する井戸知事

た。歳入の県税等は過去最高額の8566億円ですが、企業業績の悪化を反映して法人関係税は108億円減となり、消費増収分を除くと、前年度比117億円減の8131億円。歳入の県税等は過去最高額の8566億円ですが、企業業績の悪化を反映して法人関係税は108億円減となり、消費増収分を除くと、前年度比117億円減の8131億円。歳入の県税等は過去最高額の8566億円ですが、企業業績の悪化を反映して法人関係税は108億円減となり、消費増収分を除くと、前年度比117億円減の8131億円。

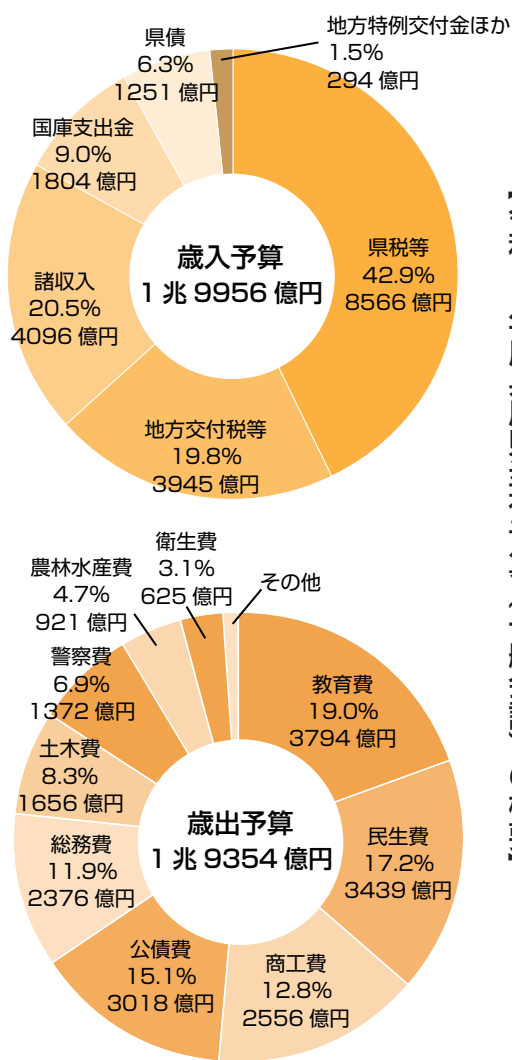
円となり厳しい状況が明らか。その結果、今年度からスタートした新行財政運営方針の財政フレームを見直すことになりました。歳入・歳出の概要は左表の通りです。

また、県内で新型コロナウィルス感染症患者が発生したことに伴い、3月1日に県対策本部を設置。クラスター化の防止や第2次感染の封じ込めに向けて、国や市町と連携しながら全力で取り組んでいるほか、同25日には社会福祉施設等での感染拡大防止や生活資金の貸し付け、児童生徒の相談対応などを盛り込んだ補正予算をとりまとめ、可決しました。

(一般会計、特別会計)

第347回
定例県議会

新予算3兆9549億円を可決



【令和2年度兵庫県当初予算(一般会計)の概要】

第二期「兵庫県地域創生戦略(2020-2024)」を策定

現在の課題

戦略面

人口面

- 若年層流出拡大**
- ・20歳代前半の転出超過数はH26年からの5年間で1.7倍
 - ・県内大学生の県内就職率は3割弱で推移
- 出生数減少加速**
- ・出生数は、H28から減少幅が拡大
 - ・50歳未満未婚率の上昇、20〜30歳代の女性人口の減少が主な要因
- 地域間格差拡大**
- ・県内でも都市圏と多自然地域で人口偏在が顕在化
 - ・合併市町では、旧役場の所在地周辺が疲弊
 - ・小規模集落が10年間で倍増



理念

五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域へ

対策 4つの戦略目標

1. 地域の元気づくり <ひと・まち・産業 元気プログラム>

2. 社会増対策 <社会減ゼロプログラム>

3. 自然増対策 —子ども・子育て対策— <婚姻数拡大プログラム>

4. 自然増対策 —健康長寿対策— <健康寿命延伸プログラム>

重要課題に対しては対応施策を**分野横断的に展開**

若者対策

女性対策

外国人材対策

関係人口対策



地域の元気を創出・拡大

8つの地域プロジェクト・モデル

阪神・淡路大交流
プロジェクト

地場産業を活かした
若者女性集積
プロジェクト

次世代産業を
核とした地域振興
プロジェクト

西播磨歴史文化街道
プロジェクト

リゾート・産業・文化を活かす
但馬ワークスペース・プロジェクト

二地域居住・都市農村
交流推進プロジェクト

令和の「御食国」
プロジェクト

多自然地域
一日生活圈維持
プロジェクト

展開方法

② 第二期兵庫県地域創生戦略と新長期ビジョンへの知事の意気込み

本定例会で第二期兵庫県地域創生戦略が提案され、令和2年度予算には2050年を見据えた新長期ビジョンの策定が盛り込まれている。しかし、すみ分

ていただきたい。

- ⑩ 人口の社会増に資する中小企業支援について
- ⑪ 持続可能な農業の育成
- ⑫ 社会基盤整備を担う人材の育成
- ⑬ 警察署等の再編整備による警察機能の強化
- ⑭ Society5.0時代の教育を支える新しい学習基盤づくり

① 新型コロナウイルス感染症への対応

感染症への社会不安や自粛要請は本県経済や県民生活を急速に停滞させ、県民生活に密接に関わる雇用情勢等も大きな影響を与えることに懸念している。

けや位置づけが分かりづらく、一つひとつがぼやけてしまう懸念もあるのではないかと。

- ③ 第二期地域創生戦略のさらなる市町との連携
- ④ 新長期ビジョンの策定方法について
- ⑤ 子どもがいて幸せだと感じる社会の実現
- ⑥ 訪問看護師・訪問介護員の安全確保
- ⑦ 不妊治療施策の拡充
- ⑧ 社会的養育の推進
- ⑨ ひきこもり対策における現状把握と関係部局との連携

コロナ対策、農業育成など要望

第347回定例会県議会の予算特別委員会が3月2日から19日にかけて開かれ、左記の項目について質問して県当局の対応を求めました。

第347回 予算特別委で質問しました
定例県議会

岡つよし県会議員の

フォト・レポート



全国慶應地方議員連盟のみなさんが兵庫県へ視察にお越しになりました(7月22日)



▲兵庫県警察年頭視閲式に参加(1月7日)



▲150名近くの方から参加して頂きました(岡つよし政経セミナーin播磨町、9月29日)



▲兵庫県も後援した加古川ツリーデーマーチに長男と20キロ歩きました(11月9日)

岡つよしに
ご意見・ご要望を！

岡つよし事務所
〒675-1112
兵庫県加古郡稲美町六分一 710
☎ 080-4398-6173
E-mail: info@oka-tsuyoshi.com